

【国際協力研究科における履修科目と履修方法】

国際協力研究科から G.ecbo または i-ECBO プログラムに参加を希望する学生は、原則下表の各科目群の中からそれぞれ最低1科目を選び履修することと、2種類の英語研修、ならびに課題発見演習を履修することが条件となります。ただし、英語受験にて入学した学生は、外国語教育研究センター(FLARE)による英語研修の履修は必須ではありません。

《履修科目一覧》

科目群	履修方法	科目名
講義形式科目群	選択 必須	平和構築論(後期)
		国際環境協力学特論 I/ II (前後期)
		指導教員指定科目
PBL 形式科目群	選択 必須	開発技術論(前期)
		国際協力特論(前期・後期)
		教育協力実践基礎論(前期)
		国際協力プロジェクト演習(前後期)
		指導教員指定科目
演習形式科目群	必須	能力開発特論(前期)*
その他研修等 (単位なし)	必須	英語プレゼンテーショントレーニング**
	必須	FLARE 等による英語研修*** (一部正規科目有り)
	必須	課題発見演習****

* 大学院共通科目 シラバス参照のこと。受講が難しい場合は必ず事前に事務局と相談すること。

** G.ecbo または i-ECBO プログラムによる英語発表研修。語学能力に応じ、PPT を用いて派遣前に 2-3 回、帰国後に 1 回実施。

*** 外国語教育研究センター(FLARE)開講の正規科目または課外コース
詳細は同センターHP(<http://www.hiroshima-u.ac.jp/flare/>)参照
その他、IDEC が開講している英語力向上のための授業(アカデミックライティング、英語論文作法 I、英語論文作法 II)に換えることも可

**** 活動の振り返りを目的としてインターンシップでの体験をもとに事例教材(ケース)を作成する演習

また、国際協力研究科では上記プログラムでのインターンシップに参加することによって、「インターンシップ」科目として2単位を取得することが可能です。単位申請手続については、学生支援室、又は各プログラム事務局までお尋ねください。

なお、博士課程後期学生については、英語プレゼンテーショントレーニング以外は任意となっております。しかしながら、上記科目或いはそれらと同等な科目を既修していることが期待されています。